

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

様々な背景を持った生徒が、社会の有為な人材となるような教育活動を実践する学校をめざす。

- 1 基礎学力をしっかりと身に付け、自信を持って「夢」や「志」を開拓できる生徒を育成する。
- 2 社会を生き抜く規範意識とマナーを持ち、社会に貢献できる多様な人材を育成する。
- 3 教職員が切磋琢磨しお互いに支え合い、生徒や保護者、地域から信頼される学びの場をめざす。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) 高等学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒に達成感を与える「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。

- ・日常の授業における基礎学力の充実・定着を図ることを主眼に、生徒の理解度を日々の小テストや復習などで検証しながら、生徒の実態に応じた教材の開発・工夫を絶えず行う。また、これまでの「桜学」の実践を、他の教科の内容にも取り入れ、本校の教育内容の一層の充実をすすめる。
- ・授業力向上等検討委員会を中心に、教員相互の公開授業や研究授業に基づいた研修会を実施する。また「学校情報委員会」を中心に I C T の効果的な活用や授業の研究・改善について組織的に取り組む。

※平成 31 年度までに、生徒向け学校教育自己診断における授業の内容に関する項目における肯定率 80%を目標とする。(平成 28 年度 79%)

2 生徒の達成感や自尊感情を育み、夢の実現に向けた支援体制の確立

(1) 社会性と規範意識の確立と自尊感情の醸成

生徒が自らの行動を律することのできる人材となるよう、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。生徒自治会を中心とした挨拶運動を継続して実施する。

※生徒向け学校教育自己診断の生活指導に関する項目における肯定率 80%以上を維持する。(平成 28 年度 81%)

(2) キャリア教育の充実と進路保障

- ・進路に対する動機付けが出来るよう、ハローワークやキャリアブリッジなどの外部機関と連携し、1 年次から計画的にキャリア教育を実施する。また、卒業時の正規雇用希望者の合格率が常に 80%以上となることを目標とする。(平成 28 年度 86%)

※生徒向け学校教育自己診断の進路指導に関する項目における肯定率 80%以上を維持する。(平成 28 年度 80%)

- ・就職・進学につながる様に担当教科が指導を行い、各種検定の合格者の総計は 7 名を目標とする。(平成 28 年度 5 名)

(3) 行事や生徒会活動、部活動を通じて集団の中で協力しながら活動できる能力を支援・育成する。

各種行事の出席率は常に 70%以上を目標とする。また、部活動加入率は常に 50%以上を目標とする。(平成 28 年度 行事出席率 70% 部活動加入率 55%)

(4) 在籍生徒の適正管理と新入生の進級率増加

保護者や関係機関との連携を強化するとともに、「生徒支援委員会」を中心とし、支援や指導が必要な生徒に適切な支援・指導を組織的に行う体制を一層推進する。また、生徒情報の共有を確かなものにし、生徒理解を深め、(在籍のみの生徒を省く) 中途退学や留年の防止に努める。

※新入生の進級率が常に 70%以上になることを目標とする。(平成 28 年度 68%)

3 開かれた学校運営と地域連携

(1) 全教職員が学校経営に参画しているとの自覚を持ち、組織の向上のために忌憚のない意見交換が出来るよう環境を整える。

(2) 地域連携を進め、地域に理解され、地域から信頼される学校をめざす。

- ・豊中市立の中学校 18 校を中心に中学校訪問や中高連絡会を行い、連携と情報共有を推進する。
- ・豊中市役所、豊中警察署、少年サポートセンター、子ども家庭センター、豊中保健所等の外部機関との連携を行い生徒の健全育成に役立てる。
- ・学校協議会と振興会の活性化を促進し、積極的な意見を述べてもらう。
- ・学校 Web ページ等の充実を図る。

※平成 31 年度までに、教職員向け学校教育自己診断の地域連携に関する項目における肯定率 80%を目標とする。(平成 28 年度 75%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【学習指導等】</p> <p>・「わかる授業、充実した授業」の実現に向け、公開授業週間を年間 2 回設定し、相互の授業見学と研究協議を実施した。授業の工夫や学力の伸長について、教員は 96%、生徒は 88%が肯定的な回答をしている。昨年度と比較して、教員で 4 ポイント、生徒で 7 ポイント上昇している。今後さらに、教員と生徒の差を縮めるために、継続して授業改善に取り組んでいく。また、92%の生徒が授業に工夫がされていると回答しており、これはこの 4 年間で最も高い値である。</p> <p>【生活指導等】</p> <p>・「話を聞いてくれる教員が多い」「気軽に相談できる雰囲気がある」という設問に対し、教員は各々 100%が肯定的な回答し、生徒はそれぞれ 88%、84%が肯定的な回答をしている。生徒のこの高い評価を維持していくため、今後もきめ細かい対応を継続していく。</p> <p>・「生活指導」に対しては、生徒の 87%、保護者の 90%、教員の 100%が肯定的な評価をしている。本校の落ち着いた学校生活が高い評価に結び付いていると考えている。</p> <p>【進路指導】</p> <p>・「進路指導」に対しては、生徒の 89%、教員の 92%が肯定的な評価をしている。生徒の評価は昨年度より 9 ポイント上昇し、この 4 年間で最も高い値である。今後も、学年と進路指導部の指導の連携を進めていく。</p> <p>【学校運営等】</p> <p>・「准校長のリーダーシップ」については、4 年連続して 100%の教員が肯定的な評価をしている。</p> <p>・分掌間の連携、教職員の相互理解は、ともに昨年度から 15 ポイント下降した。組織的な学校運営を進めていく過渡期の兆候と捉え、来年度への大きな課題としたい。</p> <p>・これまで評価の低かった「外部への情報発信」については、肯定的評価が昨年度より 10 ポイント上昇し、85%となった。地域の中学校との連携や、広報物、Web ページの改修等を中心に地域への情報発信をさらに推進していく。</p>	<p>第 1 回 (6 月 30 日)</p> <p>○H29 年度学校教育計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の中の目標値は、かなり控えめであると感じられる。もっと目標を高く掲げてほしい。 ・授業を見学すると落ち着いた雰囲気がよく分かる。この雰囲気を地域の中学校にも広く広報してほしい。 <p>○初の全日制・定時制合同の協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回初めて全定合同の協議会を開催したことは、とても意義深いことである。特に、今年度創立 80 周年を迎えるにあたり、全定の一層の連携に期待したい。 <p>第 2 回 (10 月 12 日)</p> <p>○生徒の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動やボランティア活動、コンテストなどに生徒が活躍していることは、とても素晴らしい。これからも、生徒の活動の場を広げる取り組みを進めてほしい。 <p>○文化祭について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭を見学して、本校の生徒の明るさや素直さを感じることができた。全日制のように大きな取り組みは難しいかもしれないが、定時制ならではの取組みを進めてほしい。 <p>第 3 回 (1 月 31 日)</p> <p>○学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が少ないので、年度ごとに大きな振れ幅を見せるという意見もあるだろうが、それぞれの年度の生徒、保護者の考え方は自己診断から把握できるはずである。その点から考えて、今年度の結果を次年度の学校経営計画の中に、よく反映できていると思う。特に「わかる授業、充実した授業」という目標が具体的で良い。 <p>○今年度の各分掌からの報告をうけて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制に通う生徒の変化がよく分かった。その変化を受け止めて、生徒対応にあたって教職員の努力に敬意を払いたい。これからも、桜塚高校定時制の教員の努力を地域に発信してほしい。

府立桜塚高等学校

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1)「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善への取り組み</p> <p>ア・授業力向上等検討委員会と各教科の連携による教材の開発・工夫</p> <p>イ・公開授業と授業アンケートを活用した授業改善の推進</p> <p>ウ・ICTを活用した研究授業による授業改善の推進</p>	<p>ア・授業力向上等検討委員会と各教科の連携で、生徒の実態に応じた教材の作成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの「桜学」の実践を基に、本校独自の進路実現に向けた教科横断型の体験を取り入れたHR等の授業モデルを構築する。 <p>イ・授業力向上等検討委員会で企画した公開授業（6月、11月）に合わせ、教員相互の授業見学週間を設定し、積極的な参加を促し、他の授業への助言を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回目の教員相互の授業見学後には、授業改善のために全員参加で研修会を実施する。 授業アンケート（7月、12月）は第1回を課題把握、第2回を成果検証と位置づけ授業改善を推進する。 <p>ウ・「学校情報委員会」が核となり、ICTを使った効果的な授業方法を検討し、その公開授業を実施する。</p>	<p>ア・生徒向け学校教育自己診断結果における学力面に対する肯定率 80%以上 (平成28年度 79%)</p> <p>イ・全教員による年4回以上の授業見学の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員向け学校教育自己診断の授業における工夫に対する肯定率 90%以上 (平成28年度 100%) <p>ウ・生徒向け学校教育自己診断結果における授業の工夫に対する肯定率 80%以上 (平成28年度 82%)</p>	<p>ア・各教科で生徒の理解度に対応した教材を作成し、可能な限り少人数展開の授業を実施した。ICTや実験、実習を取り入れた授業を行った。授業に対する生徒の肯定的評価は84%であった。(○)</p> <p>イ・5月と11月の授業見学後の研修会では、班別に研究授業の評価と改善について協議した。5月の研修会では簡単な模擬授業も取り入れた。授業の工夫に対する教員の肯定的評価は100%であった。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒数が少ないため、アンケートの数値は大きく変動する。そのため、管理職の日常的な授業観察と合わせて、各教員の授業改善の指標としている。(○) <p>ウ・多くの教員が、日常的にICTを授業の中に活用し、視覚的な教材を取り入れ、生徒の興味を引きだし、理解を高める工夫をしている。授業の工夫に対する生徒の肯定的評価は92%であった。(◎)</p>
2 生徒の達成感や自尊感情を育み、夢の実現に向けた支援体制の確立	<p>(1) 社会性と規範意識の確立と自尊感情の醸成</p> <p>(2) キャリア教育の充実と進路保障</p> <p>(3) 行事や生徒自治会活動、部活動を通じて集団の中で調和しながら活動できる能力を育成する。</p> <p>(4) 在籍生徒の適正管理と新入生の進級率増加</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻しない、欠席の際には事前に担任に連絡する、人の話を静かに聞く、言葉使いに気をつける等、社会性と規範意識の確立をめざす。登校時の教員と生徒による挨拶運動を継続する。 生徒自治会を中心に、全日制とも連携しながら、80周年の記念事業への生徒の関わりを推進する。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年次から計画的に進路指導部と学年が連携しキャリア教育を実践する。 外部講師の講演を積極的に実施し、進路に対して希望の持てる動機付けを行う。 各種の資格試験に挑戦し合格することで、生徒に自尊感情や自己肯定感を獲得させ進路指導につなげる。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動に参加し、仲間意識を育むことにより、生徒に達成感や自尊感情を感じさせる。 生徒自治会活動に参加し、地域と交流することで、本校への帰属意識や連帯感を高める。 各種学校行事への参加を促し、仲間意識と帰属意識を高める。 <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒との面談、保護者との懇談や日常の連携、家庭訪問、電話連絡などを通じ、一人ひとりに対してきめ細かく対応する。 「生徒支援委員会」を核とした生徒の支援に努める。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒向け学校教育自己診断結果における規範意識に対する肯定率 80%以上 (平成28年度 81%) 全日制と連携した取り組みや記念事業への取組を2回以上実施する。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒向け学校教育自己診断結果における進路指導に対する肯定率 80%以上 (平成28年度 80%) 卒業時の正規雇用希望者の合格率 80%以上 (平成28年度 86%) 各種の資格試験の合格者数の目標を7名以上 (平成28年度 5名) <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率 50%以上 (平成28年度 55%) 行事への参加率 70%以上 (平成28年度 70%) <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入生の進級率 70%以上を目標とする。 (平成28年度 68%) 生徒向け学校教育自己診断結果における本校に対する満足度の項目の肯定率 80%以上 (平成28年度 89%) 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校説明会等では、落ち着いた雰囲気の中での授業に対する評価が高い。登校時に教員と生徒自治会役員が挨拶運動を行っている。規範意識に対する生徒の肯定的評価は84%であった。(○) 全日制自治会と共同で、七夕、クリスマスなどのイベントを4回実施した(◎)。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生には卒業生とのディスカッション、2年生にはNPOと連携した将来設計の授業、3年生には外部機関と連携しGABTテストをそれぞれ行った。また、ハローワークとも連携し就職セミナーを実施した。 大学進学者は3名であった。 就職内定者は16名であった。学校幹旋の正規雇用希望者の合格率は88%であった。(○) 進路指導に対する生徒の肯定率は89%であった。(○) 数学、情報の検定にのべ9名が合格した。(○) <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率は55%であった。(○) 秋季発表大会で研究会賞と奨励賞を受賞。柔道部が全国大会と近畿大会に出場した。(○) 各種行事への参加率は60%。(△) <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入生の進級率は76%であった。(○) 「生徒支援委員会」は支援コーディネータを中心に外部機関とも連携を進め、組織的に生徒対応にあたっている。(○) 91%の生徒が、本校に入学してよかったと回答している。(○)
3 開かれた学校運営と地域連携	<p>(1) 全教職員が学校経営に参画しているとの自覚を持ち、忌憚のない意見交換が出来るよう環境を整える。</p> <p>(2) 地域との連携を進め、地域から信頼される学校をめざす。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員会議で自らの考えをはっきりと述べられるように教職員に働きかける。 情報共有のため「職員連絡会」を効率的に使う。 教員がより主体的に学校運営に関われるよう、必要に応じて委員会・分掌の再編をする。 教職員の防災や防犯に関する知識の再確認と研修を実施する。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊中市立各中学校を中心に中学校訪問や中高連絡会を実施し連携を進める。 夜間学級と連携し、相互の授業見学会等を実施する。 学校説明会で、保護者や卒業生等に、学校生活について話してもらう場面を設定する。 豊中市役所、豊中警察署、豊中保健所、子ども家庭センター等の外部機関との連携を行い生徒の健全育成に役立てる。 学校協議会と振興会の活性化を促進し、積極的な意見を述べてもらう。 学校Webページを改修するとともに、メールマガジンを月2回以上発行する。 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員向け学校教育自己診断結果における学校運営に関する項目の肯定率 90%以上 (平成28年度 100%) 教員向け学校教育自己診断結果における防災や防犯に関する項目の肯定率 80%以上 (平成28年度 92%) <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校訪問と中高連絡会を2回実施し本校の実情を知らせる。 教員向け学校教育自己診断結果における地域連携に関する項目の肯定率 80%以上 (平成28年度 75%) 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校運営に対しては100%の教員が肯定的な評価をしている(◎) 分掌の連携、教職員の相互理解に対する評価が昨年度より下降した。組織的な学校運営を進めていく過渡期の兆候と捉え、来年度への大きな課題としたい。 保健部主催の参加型の防災研修を行った。(○) 防災防犯に対しては、92%の教員が肯定的な評価をしている。(○) <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校訪問と中高連絡会をともに2回実施し、情報交換を行った。(○) 豊中市内を中心に24の中学校を訪問し、進学相談会等の案内を行った。(◎) 2回の学校説明会には合わせて70名弱の参加者があり、本校の取組に高い評価を得た。(◎) 本校生徒の取組みを豊中市長に報告し、市のWebページにも紹介された。(○) 学校協議会は授業や文化祭を見学し、改善に対する意見を交換した。(○) 学校Webページの更新は年度末に実施したが、メールマガジンの発行は、来年度への課題となった。(△) 地域連携に対して、教員の85%が肯定的な評価をしている。(◎)